

市単独事業

令和7年度 市道山田下広瀬線上水道管移設工事

設計書

見積設計書

工事番号 宍水上工第 070102 号

路線名

工事箇所 宍粟市山崎町山田 地内

工種

実施



宍

栗

市

工 事 費				工 事 概 要			
	実 施	変 更		増 減 額		配水管布設 HPPE φ 100 L= 51.8 m HIVP φ 100 L= 3.6 m HIVP φ 40 L= 6.5 m	
設 計 額 (内消費税額) 基 準 適 用 (R7.7.1)	円 (円)	円 (円)		円 (円)			
請 負 額 (内消費税額)	円 (円)	円 (円)		円 (円)			
執行方法	請 負	施工日数 または 施工期限	令和8年3月25日限り				
(起工又は変更理由)							

総括情報表

頁0-0001/0065

単価適用年月日	0-07. 07. 01 (0)		
	今 回		前 回
工種区分 施工地域区分 工事価格丸め 前払区分 契約保証補正 週休 2 日補正	01 開削工事及び小口推進工事 23 一般交通影響あり (2) 02 千円丸め 02 補正なし 1.00 01 金銭的保証 03 4 週 8 休以上		

工 事 費 内 訳 書

頁0-0002/0065

費目・工種・種別・細目		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費							
材料費							
	材料費						
		1		式			代価 第0001号内訳表
	材料費 給水管						
		1		式			代価 第0002号内訳表
労務費							
	労務費						
		1		式			代価 第0003号内訳表
	労務費 給水管						
		1		式			代価 第0004号内訳表
土工費							
	管路土工費						
		1		式			代価 第0005号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0003/0065

	費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
安全管理費							
	交通誘導警備員 B						
		8		人日			施工 第0-0055号内訳表
直接工事費計							
共通仮設費計							
共通仮設費率分				式			
純工事費計							
現場管理費				式			
工事原価計							
一般管理費等				式			

工 事 費 内 訳 書

頁0-0004/0065

費目・工種・種別・細目		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
工事価格計											
消費税相当額											
総 計					式						

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
HPPE (EF) 片受直管 φ 100					
建設物価と積算資料の2誌平均単価	11	本			K 管材費
HPPE (EF) 片受曲管 φ 100*45°					
建設物価と積算資料の2誌平均単価	2	個			K 管材費
PVジョイント φ 100					
見積平均単価	2	個			K 管材費
HIVP (RR) 直管 φ 100×5000					
建設物価と積算資料の2誌平均単価	1	本			K 管材費
HIVP (RR) 曲管 45° φ 100					
建設物価と積算資料の2誌平均単価	4	個			K 管材費
VSジョイント φ 100 ロング					
見積平均単価	1	個			K 管材費
離脱防止金具 φ 100 HIVPゴム輪型用					
見積平均単価	5	個			K 管材費
サドル付き分水栓 φ 100*40 HPPE用					
Web建設物価1誌の単価	1	個			K 管材費
サドル付き分水栓 φ 100*40 HIVP用					
積算資料別冊の1誌単価	1	個			K 管材費

材料費

代 価 表

代価 第0001号内訳表

頁0-0006/0065

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
分止水栓用クロ継手 φ40 HIVP用					
見積平均単価	2	個			K 管材費
HIVP TS直管 φ40×4000					
建設物価と積算資料の2誌平均単価	2	本			K 管材費
HIVP ソケット φ40					
建設物価1誌の単価	5	個			K 管材費
HIVP エルボ φ40					
建設物価1誌の単価	2	個			K 管材費
耐力式ゲートバルブ φ40					
見積平均単価	1	個			K 管材費
鋼管用エラスジョイント φ40 HIVP用 オスねじ					
見積平均単価	2	個			K 管材費
DCIP (K) フランジ短管 φ75 H=500 7.5k					
建設物価と積算資料の2誌平均単価	2	個			K 管材費
フランジ継手材 φ75 RF 7.5k					
Web建設物価1誌の単価	3	組			K 管材費
配管明示テープ					
見積平均単価	61.9	m			

代 価 表

頁0-0007/0065

1 式 当り

9/89

材料費 給水管

代 価 表

代価 第0002号内訳表 1 式 当り 頁0-0008/0065

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
サドル付き分水栓 φ 100*30 HPPE用					
Web建設物価1誌の単価	1	個			K 管材費
分止水栓用クロ継手 φ 30 HIVP用					
見積平均単価	1	個			K 管材費
HIVP TS直管 φ 30×4000					
建設物価と積算資料の2誌平均単価	1	本			K 管材費
HIVP ソケット φ 30					
建設物価1誌の単価	2	個			K 管材費
単 位 当 り	1	式			

労務費

代 価 表

代価 第0003号内訳表

頁0-0009/0065

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポリエチレン管(融着接合) 据付 呼び径 100mm	51.8	m			施工 第0-0001号内訳表
ポリエチレン管(新設管)切断工 呼び径100mm	3	口			施工 第0-0002号内訳表
ポリエチレン管(融着接合)継手工 呼び径 100mm, 1 口継手	13	箇所			施工 第0-0003号内訳表
ポリエチレン管(メカニカル継手)継手工 呼び径 100mm	2	口			施工 第0-0004号内訳表
硬質塩化ビニル管 据付 呼び径 100mm	3.6	m			施工 第0-0005号内訳表
硬質塩化ビニル管(新設管)切断工 φ 100mm	5	口			施工 第0-0006号内訳表
硬質塩化ビニル管 RR継手工(呼び径 100mm) 離脱防止金具を使用する	5	口			施工 第0-0007号内訳表
硬質塩化ビニル管 メカニカル継手工 φ 100	4	口			施工 第0-0008号内訳表
硬質塩化ビニル管RR継手工 φ 100歩掛準用 サドル分水栓建込(ポリエチレン管 呼び径100mm) 配水管呼び径 40mm	1	箇所			施工 第0-0009号内訳表

労務費

代 価 表

代価 第0003号内訳表

頁0-0010/0065

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
サドル分水栓建込(ビニル管 呼び径 75～100mm) 配水管呼び径 40mm	1	箇所			施工 第0-0010号内訳表
硬質塩化ビニル管 据付 呼び径 40mm	6.5	m			施工 第0-0011号内訳表
硬質塩化ビニル管(新設管)切断工 φ40mm	6	口			施工 第0-0012号内訳表
硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径 40mm)	14	口			施工 第0-0013号内訳表
止水栓 取付 (呼び径40mm) 止水栓のみ V P 用	1	箇所			施工 第0-0014号内訳表
フランジ継手 接合(呼び径 65mm以下) J W W A 7.5K	2	口			施工 第0-0015号内訳表
消火栓(地下式 単口)設置工 人力施工 フランジ接合1口含む	1	箇所			施工 第0-0016号内訳表
消火栓(地下式 単口)撤去工 人力施工 フランジ接合1口含む	1	箇所			施工 第0-0017号内訳表
仕切弁室設置工 d=0.6	1	箇所			施工 第0-0018号内訳表

労務費

代 価 表

代価 第0003号内訳表

頁0-0011/0065

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仕切弁室撤去工 d=0.6					
撤去	1	箇所			施工 第0-0023号内訳表
消火栓室設置工 d=0.6					
設置	1	箇所			施工 第0-0028号内訳表
消火栓室撤去工 d=0.6					
撤去	1	箇所			施工 第0-0034号内訳表
管明示テープ工 天端明示のみ					
	61.9	m			施工 第0-0040号内訳表
管明示シート工					
	61.9	m			施工 第0-0041号内訳表
単 位 当 り					
	1	式			

労務費 給水管

代 価 表

代価 第0004号内訳表

頁0-0012/0065

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポリ分水分水栓建込(ポリエチレン管 呼び径100mm) 配水管呼び径 30mm	1	箇所			施工 第0-0042号内訳表
硬質塩化ビニル管 据付 呼び径 30mm	0.5	m			施工 第0-0043号内訳表
硬質塩化ビニル管(新設管)切断工 φ 30mm	2	口			施工 第0-0044号内訳表
硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径 30mm)	4	口			施工 第0-0045号内訳表
単 位 当 り	1	式			

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掘削積込工					
	30	m3			施工 第0-0046号内訳表
埋戻工（埋戻し材->流用土）					
	10	m3			施工 第0-0048号内訳表
埋戻工（埋戻し材->スクリーニングス）					
	10	m3			施工 第0-0050号内訳表
残土処分工 L=3.3km					
	10	m3			施工 第0-0051号内訳表
単 位 当 り					
	1	式			

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0014/0065

〔規格 1〕呼び径 100mm

[規格 2]

[摘要]

10

m

当り

[illegible]

施工単価表

施工 第0-0002号内訳表

頁0-0015/0065

ポリエチレン管(新設管)切断工

[規格1]呼び径100mm

[規格2]

[摘要]

1

口

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			
週休2日対象					1
普通作業員		人			
週休2日対象					1
諸雑費		%			#01
単 位 当 り	1	口			
A 作業区分 B 呼び径		=1 =8	新設管 100mm		

施工 第0-0003号内訳表

頁0-0016/0065

〔規格 1〕呼び径 100mm, 1 口継手

[規格 2]

[摘要]

箇所

当り

[illegible]

施工単価表

施工 第0-0004号内訳表

頁0-0017/0065

ポリエチレン管(メカニカル継手)継手工 呼び径 100mm

[規格1] [規格2] [摘要] 1 口 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			
週休2日対象					1
普通作業員		人			
週休2日対象					1
諸雑費		%			#01
単 位 当 り	1	口			
A 呼び径	=3		呼び径 100mm		

施工 第0-0005号内訳表

頁0-0018/0065

〔規格 1〕呼び径 100mm

[規格 2]

[摘要]

10

m

当り

[illegible]

施工 第0-0006号内訳表

頁0-0019/0065

〔規格 1〕 $\phi 100\text{mm}$

[規格 2]

[摘要]

1

当り

[illegible]

施工単価表

施工 第0-0007号内訳表

頁0-0020/0065

硬質塩化ビニル管 RR継手工(呼び径 100mm)

[規格1] 離脱防止金具を使用する [規格2] [摘要] 1 口 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			
週休2日対象					12
普通作業員		人			
週休2日対象					12
諸雑費		%			#01 2
離脱防止金具の使用による割増		%			#02
単 位 当 り	1	口			
A 呼び径 B 離脱防止金具の使用有無		=3 =1	呼び径 100mm 離脱防止金具を使用する		

施工単価表

施工 第0-0008号内訳表

頁0-0021/0065

硬質塩化ビニル管 メカニカル継手工

[規格1] φ100 [規格2] [摘要] 硬質塩化ビニル管RR継手工φ100歩掛準用 1 口 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			
週休2日対象					12
普通作業員		人			
週休2日対象					12
諸雑費		%			#01 2
離脱防止金具の使用による割増		%			#02
単 位 当 り	1	口			
A 呼び径 B 離脱防止金具の使用有無	=3 =1		呼び径 100mm 離脱防止金具を使用する		

施工 第0-0009号内訳表

頁0-0022/0065

〔規格 1〕配水管呼び径 40mm

[規格 2]

[摘要]

箇所

当り

[illegible]

施工単価表

施工 第0-0010号内訳表

頁0-0023/0065

サドル分水栓建込(ビニル管 呼び径 75～100mm)

[規格1] 配水管呼び径 40mm

[規格2]

[摘要]

1

箇所

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			
週休2日対象					1
普通作業員		人			
週休2日対象					1
諸雑費		%			#01
単 位 当 り	1	箇所			
A サドル分水栓種類	=6		ビニル管 呼び径 75～100mm		
B 配水管 呼び径	=5		呼び径 40mm		

施工単価表

施工 第0-0011号内訳表

頁0-0024/0065

硬質塩化ビニル管 据付

[規格1]呼び径 40mm [規格2] [摘要] 10 m 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			
週休2日対象					
普通作業員		人			
週休2日対象					
合 計	10	m			
単 位 当 り	1	m			
A 作業区分 B 呼び径		=1 =6	据付 呼び径 40mm		

施工単価表

施工 第0-0012号内訳表

頁0-0025/0065

硬質塩化ビニル管(新設管)切断工

[規格1] φ40mm [規格2] [摘要] 1 口 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			1
週休2日対象					
普通作業員		人			1
週休2日対象					
諸雑費		%			#01
単 位 当 り	1	口			
A 作業区分		=1	新設管		
B 呼び径		=6	40mm		

施工単価表

施工 第0-0013号内訳表

頁0-0026/0065

硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径 40mm)

[規格1] [規格2] [摘要] 2 口 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			
週休2日対象					1
普通作業員		人			
週休2日対象					1
諸雑費		%			#01
合 計	2	口			
単 位 当 り	1	口			
A 呼び径	=6		呼び径 40mm		

施工単価表

施工 第0-0014号内訳表

頁0-0027/0065

止水栓 取付（呼び径40mm）

[規格1] 止水栓のみ V P用 [規格2] [摘要] 1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			
週休2日対象					1
普通作業員		人			
週休2日対象					1
諸雑費		%			#01
単 位 当 り	1	箇所			
A 作業区分		=1	取付		
B 施工内容		=3	止水栓のみ		
C 管種		=3	V P用		
D 呼び径		=5	呼び径40mm		

施工単価表

施工 第0-0015号内訳表

頁0-0028/0065

フランジ継手 接合(呼び径 65mm以下)

[規格1] JWWA 7.5K

[規格2]

[摘要]

1

口

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			
週休2日対象					1
普通作業員		人			
週休2日対象					1
諸雑費		%			#01
単 位 当 り	1	口			
A 作業区分	=1		接合		
B 規格	=1		JWWA 7.5K		
C 呼び径	=1		呼び径 65mm以下		

施工単価表

施工 第0-0016号内訳表

頁0-0029/0065

消火栓(地下式 単口)設置工

[規格1] 人力施工 フランジ 接合1口含む [規格2] [摘要] 1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			
週休2日対象					1
普通作業員		人			
週休2日対象					1
諸雑費		%			#01
単 位 当 り	1	箇所			
A 作業区分		=1	設置		
B 施工方法		=2	人力施工		
C 消火栓種類		=1	地下式		
D 消火栓口種類		=1	単口		

施工単価表

施工 第0-0017号内訳表

頁0-0030/0065

消火栓(地下式 単口)撤去工

[規格1] 人力施工 フランジ 接合1口含む [規格2] [摘要] 1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			
週休2日対象					1
普通作業員		人			
週休2日対象					1
諸雑費		%			#01
単 位 当 り	1	箇所			
A 作業区分		=2	撤去		
B 施工方法		=2	人力施工		
C 消火栓種類		=1	地下式		
D 消火栓口種類		=1	単口		

施工単価表

施工 第0-0018号内訳表

頁0-0031/0065

仕切弁室設置工

[規格 1] d=0.6 [規格 2] [摘要] 設置 10 箇所 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄蓋設置工(円形1号 内径250)	10	個			施工 第0-0019号内訳表
レジンコンクリート製ボックス設置 (円形) 円形1号 内径250 上部壁 高さ 150mm	10	個			施工 第0-0020号内訳表
レジンコンクリート製ボックス設置 (円形) 円形1号 内径250 中部壁 高さ 100mm	10	個			施工 第0-0021号内訳表
レジンコンクリート製ボックス設置 (円形) 円形1号 内径250 底版	10	個			施工 第0-0022号内訳表
合 計	10	箇所			
単 位 当 り	1	箇所			

施工 第0-0019号内訳表

頁0-0032/0065

〔規格 1〕

[規格 2]

[摘要]

1	個	当り
---	---	----

34/89

施工 第0-0020号内訳表

頁0-0033/0065

〔規格1〕円形1号 内径250 上部壁 高さ 150mm

[摘要]

1	個	当り
---	---	----

[illegible]

施工 第0-0021号内訳表

頁0-0034/0065

[規格1] 円形1号 内径250 中部壁 高さ 100mm [規格2]

[摘要]

1	個	当り
---	---	----

[illegible]

施工 第0-0022号内訳表

頁0-0035/0065

[規格 1] 円形1号 内径250 底版

[規格 2]

[摘要]

1	個	当り
---	---	----

[illegible]

施工単価表

施工 第0-0023号内訳表

頁0-0036/0065

仕切弁室撤去工

[規格 1] d=0.6

[規格 2]

[摘要] 撤去

10

箇所

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄蓋撤去工(円形1号 内径250)	10	個			施工 第0-0024号内訳表
レジンコンクリート製ボックス撤去 (円形) 円形1号 内径250 上部壁 高さ 150mm	10	個			施工 第0-0025号内訳表
レジンコンクリート製ボックス撤去 (円形) 円形1号 内径250 中部壁 高さ 100mm	10	個			施工 第0-0026号内訳表
レジンコンクリート製ボックス撤去 (円形) 円形1号 内径250 底版	10	個			施工 第0-0027号内訳表
合 計	10	箇所			
単 位 当 り	1	箇所			

頁0-0037/0065

[摘要]

考

施工 第0-0025号内訳表

頁0-0038/0065

〔規格1〕円形1号 内径250 上部壁 高さ 150mm

[摘要]

1	個	当り
---	---	----

[illegible]

施工 第0-0026号内訳表

レジンコンクリート製ボックス撤去（円形）

〔規格 1〕円形1号 内径250 中部壁 高さ 100mm

[規格 2]

[摘要]

個

当り

[illegible]

施工 第0-0027号内訳表

頁0-0040/0065

[規格 1] 円形1号 内径250 底版

[規格 2]

[摘要]

1	個	当り
---	---	----

[illegible]

施工単価表

施工 第0-0028号内訳表

頁0-0041/0065

消火栓室設置工

[規格1] d=0.6		[規格2]		[摘要] 設置		10	箇所	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単	価	金 額	備 考
鉄蓋設置工(円形3号 内径500)		10		個				施工 第0-0029号内訳表
レジンコンクリート製ボックス設置 (円形) 円形3号 内径500 調整リング 高さ 50mm		10		個				施工 第0-0030号内訳表
レジンコンクリート製ボックス設置 (円形) 円形3号 内径500 中部壁 高さ 200mm		10		個				施工 第0-0031号内訳表
レジンコンクリート製ボックス設置 (円形) 円形3号 内径500 下部壁 高さ 200mm		10		個				施工 第0-0032号内訳表
レジンコンクリート製ボックス設置 (円形) 円形3号 内径500 底版		10		個				施工 第0-0033号内訳表
合 計		10		箇所				
単 位 当 り		1		箇所				

施工 第0-0029号内訳表

頁0-0042/0065

〔規格 1〕

[規格 2]

[摘要]

個

当り

[illegible]

施工 第0-0030号内訳表

頁0-0043/0065

〔規格1〕円形3号 内径500 調整リング 高さ 50mm 〔規格2〕

[摘要]

1	個	当り
---	---	----

[illegible]

施工 第0-0031号内訳表

頁0-0044/0065

〔規格1〕円形3号 内径500 中部壁 高さ 200mm

[摘要]

1	個	当り
---	---	----

[illegible]

施工 第0-0032号内訳表

頁0-0045/0065

〔規格1〕円形3号 内径500 下部壁 高さ 200mm

[摘要]

1	個	当り
---	---	----

[illegible]

施工 第0-0033号内訳表

頁0-0046/0065

[規格 1] 円形3号 内径500 底版

[規格 2]

[摘要]

1	個	当り
---	---	----

[illegible]

施工単価表

施工 第0-0034号内訳表

頁0-0047/0065

消火栓室撤去工

[規格1] d=0.6		[規格2]		[摘要] 撤去		10	箇所	当り
名 称 ・ 規 格	数	量	単 位	単	価	金 額	備 考	
鉄蓋撤去工(円形3号 内径500)	10		個				施工 第0-0035号内訳表	
レジンコンクリート製ボックス撤去 (円形) 円形3号 内径500 調整リング 高さ 50mm	10		個				施工 第0-0036号内訳表	
レジンコンクリート製ボックス撤去 (円形) 円形3号 内径500 中部壁 高さ 200mm	10		個				施工 第0-0037号内訳表	
レジンコンクリート製ボックス撤去 (円形) 円形3号 内径500 下部壁 高さ 200mm	10		個				施工 第0-0038号内訳表	
レジンコンクリート製ボックス撤去 (円形) 円形3号 内径500 底版	10		個				施工 第0-0039号内訳表	
合 計	10		箇所					
単 位 当 り	1		箇所					

頁0-0048/0065

[摘要]

考

[illegible]

施工 第0-0036号内訳表

頁0-0049/0065

〔規格1〕円形3号 内径500 調整リング 高さ 50mm 〔規格2〕

[摘要]

1	個	当り
---	---	----

[illegible]

施工 第0-0037号内訳表

頁0-0050/0065

〔規格1〕円形3号 内径500 中部壁 高さ 200mm

[摘要]

1	個	当り
---	---	----

[illegible]

施工 第0-0038号内訳表

頁0-0051/0065

〔規格1〕円形3号 内径500 下部壁 高さ 200mm

[摘要]

1	個	当り
---	---	----

[illegible]

施工 第0-0039号内訳表

頁0-0052/0065

[規格 1] 円形3号 内径500 底版

[規格 2]

[摘要]

1	個	当り
---	---	----

[illegible]

施工単価表

施工 第0-0040号内訳表

頁0-0053/0065

管明示テープ工

[規格1]天端明示のみ

[規格2]

[摘要]

100 m 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.04	人			
週休2日対象					
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			

施工単価表

施工 第0-0041号内訳表

頁0-0054/0065

管明示シート工

[規格1] [規格2] [摘要] 100 m 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
週休2日対象					
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			

施工単価表

施工 第0-0042号内訳表

頁0-0055/0065

サドル分水栓建込 (ポリエチレン管 呼び径100mm)

[規格1] 配水管呼び径 30mm

[規格2]

[摘要]

1

箇所

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			
週休2日対象					1
普通作業員		人			
週休2日対象					1
諸雑費		%			#01
単 位 当 り	1	箇所			
A サドル分水栓種類 B 配水管 呼び径		=10 =4	ポリエチレン管 呼び径100mm 呼び径 30mm		

施工単価表

施工 第0-0043号内訳表

頁0-0056/0065

硬質塩化ビニル管 据付

[規格1]呼び径 30mm [規格2] [摘要] 10 m 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			
週休2日対象					
普通作業員		人			
週休2日対象					
合 計	10	m			
単 位 当 り	1	m			
A 作業区分 B 呼び径		=1 =5	据付 呼び径 30mm		

施工 第0-0044号内訳表

頁0-0057/0065

[規格 1] $\phi 30\text{mm}$

[規格 2]

[摘要]

1	口	当り
---	---	----

[illegible]

施工単価表

施工 第0-0045号内訳表

頁0-0058/0065

硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径 30mm)

[規格1] [規格2] [摘要] 2 口 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			
週休2日対象					1
普通作業員		人			
週休2日対象					1
諸雑費		%			#01
合 計	2	口			
単 位 当 り	1	口			
A 呼び径	=5		呼び径 30mm		

施工単価表

施工 第0-0046号内訳表

頁0-0059/0065

掘削積込工

[規格1] [規格2] [摘要] 100 m3 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
週休2日対象					
普通作業員		人			
週休2日対象					
バックホ運転		時間			
合 計	100	m3			
単 位 当 り	1	m3			
A バックホ規格	=3		バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工 第0-0048号内訳表

頁0-0060/0065

埋戻工（埋戻し材->流用土）

[規格1] [規格2] [摘要] 100 m3 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
週休2日対象					
普通作業員		人			
週休2日対象					
流用土		m3			
バックホ運転		時間			
タンパ運転（賃料）		日			
合 計	100	m3			
単 位 当 り	1	m3			
A 埋戻し材の種類 B バックホ規格	=2 =3		流用土 バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工 第0-0050号内訳表

頁0-0061/0065

埋戻工（埋戻し材→スクリーニングス）

[規格1] [規格2] [摘要] 100 m3 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
週休2日対象					
普通作業員		人			
週休2日対象					
スクリーニングス (0～2.5mm)		m3			
バックホ運転		時間			
タンパ運転（賃料）		日			
合 計	100	m3			
単 位 当 り	1	m3			
A 埋戻し材の種類 B バックホ規格		=6 =3	スクリーニングス バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工 第0-0051号内訳表

頁0-0062/0065

[規格 1] L=3.3km

[規格 2]

[摘要]

10

m3

当り

[illegible]

施工 第0-0052号内訳表

頁0-0063/0065

[規格 1] 処理対象→土砂

[規格 2]

[摘要]

10

m3

当り

[illegible]

施工 第0-0054号内訳表

頁0-0064/0065

[規格 1] 土 砂

[規格 2]

[摘要]

式

当り

[illegible]

施工 第0-0055号内訳表

頁0-0065/0065

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

人日

当り

[illegible]

数 量 総 括 表

市道山田下広瀬線上水道管移設工事

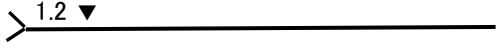
工 種	種 別	細 別	算 式	数量	単位	摘要
【本工事費】						
材料費						
材料費				1	式	
材料費 給水管				1	式	
労務費						
労務費				1	式	
労務費 給水管				1	式	
土工費						
管路土工費				1	式	
安全管理費						
交通誘導員	交通誘導員B	昼間勤務-実働8時間		8	人日	

管 材 費											
数 量 表											
名 称	形状・寸法	単位長	単 位	計 算 式						合 計	摘 要
【管 材 費】											
HPPE EF 片受直管	φ 100×5000L	5.000	本	直管 45.0m	計 45.0m	9本					
			本		計			合計			
				切管用片受直管(切管調書より)		2本		11		11	
HPPE EF 片受曲管 45°	φ 100	0.490	個					2		2	
PVジョイント	φ 100	0.043	個					2		2	配管延長 51.8m
HIVP RR 直管	φ 100×5000L	5.000	本		計			合計			
				切管用片受直管(切管調書より)		1本		1		1	
HIVP RR 曲管 45°	φ 100	0.464	個					4		4	
VSジョイント	ロング φ 100	0.104	個					1		1	配管延長 3.6m
離脱防止金具	HIVPゴム輪型用 φ 100		個					5		5	
サドル付分水栓	φ 100*40 HPPE用		個					1		1	
サドル付分水栓	φ 100*40 HIVP用		個					1		1	
分止水栓用ロクロ継手	φ 40 HIVP用		個					2		2	
HIVP TS 直管	φ 40×4000L		本								
				切管用片受直管(切管調書より)		2本		2		2	
HIVP TS ソケット	φ 40		個					5		5	
HIVP TS エルボ	φ 40		個					2		2	配管延長 6.5m
耐力式ゲートバルブ	φ 40		個					1		1	
鋼管用エラスジョイント	φ 40 オスねじ		個					2		2	
DCIP (K) フランジ短管	φ 75 H=500		個					2		2	

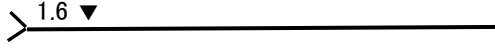
管材費											
数 量 表											
名 称	形状・寸法	単位長	単 位	計算式						合 計	摘 要
フランジ継手材	RF φ 75 7.5k		組							3	
消火栓室	Co製 タン d=0.6m 宍粟市仕様		組							1	既設再利用
仕切弁室	Co製 タン d=0.6m 宍粟市仕様		組							1	既設再利用
配管明示テープ			m							61.9	
埋設表示シート	アルタン タブル 150		m							61.9	
【管材費 給水管】											
サドル付分水栓	φ 100*30 HPPE用		個							1	
分止水栓用ロクロ継手	φ 30 HIVP用		個							1	
HIVP TS 直管	φ 30×4000L		本	0.5m→1本						1	
HIVP TS ソケット	φ 30		個							2	

切管調書

φ 100 mm

管 種		HPPE EF	残 管	切断数	備 考
1	番号 延長		3.800	1	
2	番号 延長		0.500	2	
	番号 延長				
	番号 延長				
	番号 延長				
	番号 延長				
	番号 延長				
2		L= 5.700	4.300	3	

φ 100 mm

管 種		HIVP RR	残 管	切断数	備 考
1	番号 延長		2.400	1	
	番号 延長				
	番号 延長				
	番号 延長				
	番号 延長				
	番号 延長				
	番号 延長				
1 本		L= 1.600	2.400	1	

切管調書

φ 40 mm

管 種		HIVP TS	残 管	切断数	備 考
1	番号 延長	<u>3.4 ▼ 0.3 ▼</u>	0.300	2	
2	番号 延長	<u>0.8 ▼ 2.0 ▼</u>	1.200	2	
	番号 延長				
	番号 延長				
	番号 延長				
	番号 延長				
	番号 延長				
	番号 延長				
2		L= 6.500	1.500	4	

φ mm

管 種			残 管	切断数	備 考
	番号 延長				
	番号 延長				
	番号 延長				
	番号 延長				
	番号 延長				
	番号 延長				
	番号 延長				
0 本		L= 0.000	0.000	0	

労務費											
数 量 表											
名 称	形状・寸法	単位長	単 位	計算式						合 計	摘 要
【労務費】											
ポリエチレン管(融着接合)据付	φ100		m						51.8	51.8	
ポリエチレン管(新設管)切断工	新設管 φ100		口	切管表より：3口						3	3
ポリエチレン管(融着接合)継手工	1口 φ150		箇所						13	13	
ポリエチレン管 (メカニカル継手)継手工	HPPE φ150		口						2	2	
硬質塩化ビニル管据付	φ100		m						3.6	3.6	
硬質塩化ビニル管切断工	新設管 φ100		口	切管表より：1口+新設管との接続部：4口						5	5
硬質塩化ビニル管RR継手工	離脱防止金具使用する φ100		口						5	5	
硬質塩化ビニル管 メカニカル継手工	φ100		口	※硬質塩化ビニル管 RR継手工(φ100 離脱防止金具使用)歩掛を準用						4	4
ポリフル分水建込工	HPPE 給水接合1口 φ100×40		箇所						1	1	
ポリフル分水建込工	HIVP 給水接合1口 φ100×40		箇所						1	1	
硬質塩化ビニル管据付工	φ40		m						6.5	6.5	
硬質塩化ビニル管切断工	新設管 φ40		口	切管表より：4口+新設管との接続部：2口						6	6
硬質塩化ビニル管継手工	φ40		口						14	14	
止水栓取付	接合2口 φ40		箇所						1	1	
フランジ継手接合	φ75 7.5k		口						2	2	
消火栓（地下式 単口） 設置工	人力施工 フランジ接合1口		箇所						1	1	
消火栓（地下式 単口） 撤去工	人力施工 フランジ取外し1口		箇所						1	1	

労務費											
数 量 表											
名 称	形状・寸法	単位長	単 位	計算式						合 計	摘 要
仕切弁室設置工	設置 d=0.6		箇所						1	1	
仕切弁室撤去工	撤去 d=0.6		箇所						1	1	
消火栓室設置工	設置 d=0.6		箇所						1	1	
消火栓室撤去工	撤去 d=0.6		箇所						1	1	
管明示テープ工	天端明示のみ		m						61.9	61.9	
管明示シート工			m						61.9	61.9	
【労務費 給水管】											
ホトル分水建込工	HPPE 給水接合1口 φ100×30		箇所						1	1	
硬質塩化ビニル管据付工	φ30		m						0.5	0.5	
硬質塩化ビニル管切断工	新設管 φ30		口						2	2	
硬質塩化ビニル管継手工	φ30		口						4	4	

管 路 土 工	
数 量 表	

数量表

[illegible]

管路土工

土 工 数 量 計 算 表

			土工① HIVP φ 100		土工② HIVP φ 100		土工③ HIVP φ 40		土工④ HPPE φ 100		土工⑤ HIVP φ 40					計	合計	設計 数量	備 考
延 長			2. 1m		1. 7m		5. 8m		50. 8m		1. 1m								
掘削積込工	土砂	m3	0. 462	0. 97	0. 642	1. 09	0. 420	2. 44	0. 468	23. 77	0. 420	0. 46				28. 73		30	
埋戻工	流用土	m3	0. 270	0. 57	0. 450	0. 77	0. 270	1. 57	0. 222	11. 28	0. 210	0. 23				14. 42		10	
	スクリーニングス	m3	0. 181	0. 38	0. 181	0. 31	0. 148	0. 86	0. 185	9. 40	0. 148	0. 16				11. 11		10	
残土処分工	L=3. 3km	m3	0. 162	0. 34	0. 142	0. 24	0. 120	0. 70	0. 221	11. 23	0. 187	0. 21				12. 72		10	
		m3																	
		m3																	
		m3																	
		m3																	
		m2																	
		m2																	
		m2																	
		m2																	

[illegible]

特記仕様書

工 事 名 市道山田下広瀬線上水道管移設工事

工事場所 宍粟市山崎町山田 地内

工 期 令和8年3月25限り

第1条 適用

本工事の施工にあたっては設計図書によるほか、以下の図書及び本特記仕様書によるものとする。

土木工事共通仕様書（兵庫県土木部）〔平成29年12月〕（最新改訂版）

土木請負工事必携（兵庫県土木部）〔平成29年12月〕（最新改訂版）

土木工事施工管理基準（兵庫県土木部）〔平成29年12月〕（最新改訂版）

小型構造物標準図集（兵庫県土木部）〔平成25年10月〕（最新改訂版）

第2条 一般事項

1. 受注者は施工に先立ち、事前に設計図書の照査を行うものとし、現地との整合性を確認し、疑義が生じた場合は、確認できる資料を書面により提出し、監督員と協議の上処理するものとする。
2. 受注者は施工に先立ち、監督員と立会いの上、BM、工事の起終点、官民境界等を確認しなければならない。また、発注者より貸与する測量成果簿により再測量を行うものとし、その成果を監督員に報告するものとする。

第3条 隣接工事との調整

1. （隣接工事名） 市道山田下広瀬線道路改良工事
2. 本工事受注後、工程調整及び現場調整のため、直ちに上記工事発注者を交えて工程会議を行う。その後、施工計画・実施工程表を作成し監督員の承諾を得ること。

第4条 地元への対応

1. 受注者は本工事を施工するにあたり、事前に自治会長等の関係者に挨拶（報告）すること。
2. （工事用地区域外への対応）
工事施工箇所、資材置き場、資材運搬路等に隣接する土地所有者とトラブルのないよう現地立会し、十分協議すること。また、工事用地以外の区域へ立入りする場合及び草木等の伐採を必要とする場合には、必ず所有者の承諾を得るものとする。（民地を掘削しなければならない時は、官民境界を監督員及び土地所有者と立会確認し、控杭等を設置し保有する。）

第5条 環境対策

1. （排出ガス対策型建設機械）
本工事において、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとし、施工計画書に証明書を添付し提出すること。
2. （公害対策）
 - ① 工事施工により発生する公害は、環境基準を厳守し万全の対策・処置を講じること。
 - ② 本工事箇所は、低騒音・低振動型機械を使用することとし、作業の実施にかかる事前の届出と規制基準の遵守を義務づけられているので、作業開始7日前までに届けるとともに、その写しを1部提出すること。
 - ③ 騒音及び振動、濁水について、工事施工前及び工事施工中において、監督員と協議の上必要に応じて観測を行うものとし、工事により悪化した場合、速やかに対応を行うこととする。なお、前述の観測地点、回数等については監督員と協議のうえ決定するものとし、これに要する費用については、受注者の負担とする。
 - ④ 土砂掘削等による汚水、塵埃、騒音、振動及び路面の汚損には細心の注意を図ること。万一地元及び第三者から苦情があった場合は、受注者で責任を持って処理すること。

第6条 工事中の安全確保

1. (工法変更等への対応)

構造物等の施工に於いて湧水、その他の障害のため通常の工法では初期の目的を達することが出来ない場合、または関係機関と協議の結果、新たな作業及び構造の変更が生じた場合は、対策工法を監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

2. (掘削部の安全施工)

土石崩落等危険と判断される時及び床堀法面において、関係機関との打合せ等により、危険防止のための安全対策等が必要となった場合は、監督員と協議するものとし設計変更の対象とする。

3. (安全・訓練等の実施)

安全・訓練等の実施については、土木工事共通仕様書第1編を参照のこと。また、実施状況をビデオまたは工事報告書(工事旬報)に記録し報告するほか、写真等も整理のうえ提出すること。(尚、これらに要する経費については、現場管理費率に含む。)

第7条 交通安全管理

1. (道路使用願等)

工事の施工に当たっては、一般通行等に及ぼす影響を最小限になるように施工計画を立案し、監督員と協議すると共に、「道路使用許可願」を所轄警察に提出し、その許可を得るとともに許可証の写しを監督員に提出すること。また、関係機関との協議を発注者と共に行い、必要な安全対策を講じること。

2. (安全施設類)

標識類、防護柵等の安全施設類については、現場条件に応じて設置する他、道路管理者及び所轄警察署と打合わせを行い実施するものとする。なお、打合わせの結果又は条件変更等に伴い、道路工事現場における標示施設等の設置基準(土木請負工事必携 11)以上の保安施設類が必要な場合、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

3. (交通誘導員の有資格)

① 本工事に配置する交通誘導員は、警備員等の検定等に関する規則(平成17年11月18日国家公安委員会規則第20号)等に基づき、交通誘導警備検定合格者(1級又は2級)を規制箇所毎に1名以上配置することとする。

② 受注者は、配置した交通誘導警備検定合格者の検定合格証(写し)を監督員に提出するものとする。

4. (交通誘導員の配置)

交通誘導員については、下表のとおり計上しているが、道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果又は、条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

配置場所	交通誘導員	編成	昼夜別	交替要員の有無
作業地点	2名/日	交通誘導員B 2名	昼間	無

なお、交通誘導員A、Bの定義は次のとおり。

交通誘導員A：警備業者の警備員(警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。)で、交通誘導警備業務(警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。)に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員

交通誘導員B：警備業者の警備員で、交通誘導員A以外の交通の誘導に従事するもの

5. (過積載による違法運行の防止について)

過積載による違法運行防止対策として次の事項を遵守すること。

① 積載荷重制限を超えて土砂を積み込まない。

② 過積載を行っている業者から、資材を購入しない。

③ 不正改造運搬車(さし枠装着、違法物品積載装置)を一切使用してはならない。また、工事現場への出入もさせてはならない。

第8条 建設発生土及び採取土

1. 建設発生土を県登録施設へ搬出する場合

(建設発生土の搬出先)

建設発生土の搬出先は、積算条件として、以下を設定している。

品 目	施設の名称	運搬距離	所 在 地	受入等諸条件	その他
建設発生土	(株)清名	3. 3km	宍粟市山崎町 中比地 547	兵庫県土木部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること	監督員の指示による

上表については、積算参考条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではない。受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき、施工計画書に記載して監督員に提出しなければならない。なお、受注者が選定した施設が、積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。

ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設から登録抹消されるなど、受入困難となった場合は、設計変更を行う。

- 建設発生土(土砂)の残土処分は、運搬距離3.3kmの暫定指定処分とし、協議により処分地を選定し承諾する。
なお、処分地の選定、または、工事間等の流用箇所があれば運搬距離等は、設計変更の対象とする。
- 暫定指定処分においては、処分地を受注者が選定し、処分地の法規制等の有無、搬出業者の許可の有無等を確認し、必要書類を提出し、監督員の立会いの上、発注者の承認を得ること。
- 処分地における押土等処理方法は監督員の指示を得ること。
検収方法としては、受注者は伝票または出来形展開図(処分前、処分中、処分後の写真を含む)を提出すること。
- 土質調査の結果等により流用が不可能と考えられる場合は、監督員と協議の上、適正に処分を行うものとする。

第9条 支障物件内容及び地下埋設物件の事故防止

- 本工事区間の支障物件は下表のとおりである。受注者は各管理者と連絡を十分に行い、施工すること。

支 障 物 件	管 理 者	管理者との協議	移 設 時 期
上下水道管	上下水道課	事前協議	

- 工事の施工にあたって予想される地下埋設物件は、管理者と現地立会のうえ、当該物件の位置・深さを確認し、保安対策について十分打合せを行ない、事故の発生を防止すること。保安対策の打合せを行ったときは、「立会打合せ調書」に立会者の押印を求め、当該調書の写を監督員に提出するものとする。
- 請負人の責により地下埋設物件に損害を与えた場合は、すみやかに監督員に報告するとともに関係機関に連絡し応急措置をとり、請負人の負担によりこれを補修しなければならない。
- 埋設物件等の管理者不明のものがある場合は、監督員に報告し、その処置については、占用企業者全体の立会を求め、管理者を明確にしなければならない。その結果死管の処置を請負人が企業者より依頼を受けた場合には、文書によってその責任を明確にしておかなければならない。

第10条 週休2日確保工事について

- 本工事は、原則週休2日(土曜・日曜)を確実に取得できるよう工事を実施する「週休2日制度」の対象工事であり、その旨を工事看板(看板④)に明記すること。(受注者は契約後、施工計画書を提出する。)建設業へ入職しやすい環境整備のため、週休2日が確実に確保できるよう受発注者間で工程を調整し、施工計画を作成するなどの取り組みを行う。
- 天候や地域住民対応等で土曜・日曜の施工が必要となった場合は、監督員と協議のうえ、振替休日を取得する等、週休2日に努めること。(但し、工事成績評定の加点等については、土曜・日曜の現場閉所に限定して評価するが、1ヶ月あたり2日を上限として、土曜・日曜の現場閉所日を平日に振り替えることを可能とする。)
- 現場稼働中の工期〔工事着手(現場測量等)前、年末年始休暇6日間、夏季休暇3日間、一時中止期間、工場製作期間、工事完了後等の期間を除く〕の原則土曜・日曜の現場閉所(以下「現場閉所」という。)の達成状況(平日振替日を含む)に応じて工事成績の評価を行う。

4. 現場閉所の確認のため、受注者は工事履行報告書を提出すること。
5. 労務費等の補正については、当初予定価格に4週8休以上を達成した場合の補正係数を各経費に乗じている。
なお、現場閉所の達成状況が4週8休に満たないものは、現場閉所の達成状況に応じて請負代金額のうち補正分を、減額変更する。
6. 土曜・日曜の休日に受注者の作業員や下請け企業が他の現場で作業に従事することを制限しない。同様に現場代理人等（監理技術者、主任技術者、管理技術者補佐）が休日に書類作成等の内業や他の現場に従事することを制限しない。但し、専任の者である場合、他の現場に従事しないこと。

《週休2日制度の達成状況》

現場閉所日数（平日振替日を含む）を現場稼働中の土曜・日曜の全日数で除し、小数点以下を四捨五入する。

※悪天候や作業工程等の理由により、平日が現場閉所となり、土曜や日曜に作業を行った場合は、1ヶ月あたり2日を上限として、土曜・日曜の現場閉所日を平日に振り替えることを可能とする。

＜労務費、機械経費、共通仮設費率、現場管理費率の補正＞

補正係数	補正係数
	4週8休以上達成の場合
	4週8休以上
労務費	1.05
機械経費（賃料）	1.04
共通仮設費率	1.04
現場管理費率	1.06

第11条 特定外来生物の駆除について

1. 工事着手前に工事区域内において、以下に示す特定外来生物が生育していないか現地踏査を行い、特定外来生物の生育の有無を、監督員に報告すること。なお、下記に記載の特定外来生物の生育が確認された場合は、別途、施工計画書にその処分、運搬方法等について記載すること。

・特定外来生物の種類：

アルゼンチナ・フィロセロゲス(カヅツルゲイトウ)、ヒステア・ストティテス(ボタンウキクサ)、アゾル・クリスタ、コレオプシス・ランケラタ(オキナグサ)、ギムノコリス・スピラントテス(ミズヒマワリ)、ルトベギア・テニアタ(オハコソウ)、セネオ・マダガスカルエンシス(ナルサワギク)、スギユオス・アングラトウス(アレウリ)、ミリオフォルム・アクアティム(オアサモ)、ルトウイギア・グランディフロラ(オハナミズキンバイ等)、ウェロニカ・アナゲリス・アクアティカ(オカワヂシャ)、の植物11種

(詳細については、下記の環境省ホームページ

URL：<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/list.html>を参照)

2. 確認された特定外来生物の防除を行う場合、別紙防除実施計画書に基づいて個体を採取し、処分しなければならない。
3. 特定外来生物の防除完了後、防除記録台帳を作成し、監督員に提出すること。
4. 特定外来生物を含む残土については、極力、現場内にて処分するよう努めること。

第12条 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

第13条 施工管理

5. 受注者は、本工事に関する施工管理担当者を定め、その氏名を書面で発注者に通知しなければならない。施工管理担当者を変更したときも同様とする。
6. 主任技術者（監理技術者）及び専門技術者は、前項の施工管理担当者を兼ねる事が出来る。
7. 施工管理担当者は、土木工事施工管理基準及び規格値、同運用方針により、施工管理を実施しなければならない。また、工事の進捗に伴い、必要な事項が生じた場合には追加することがある。
8. 施工管理のうち、品質および出来形管理については、管理基準および規格値、同運用方針に基づいて試験や測量を実施するとともに、そのデータを用いて管理図等（管理図またはデータの集計表）を作成し、提出すること。
(データのみの提出はしないこと)

第14条 写真管理

1. 写真管理については、土木工事施工管理基準の写真管理基準により撮影、整理すること。
黒板・スタッフ・ポール等をあて工種、測点ごとに明確に撮影し、分り易く整理して提出すること。
2. 写真はカラーL版(89×127mm)とする。ただし、着工前及び完成写真等は、キャビネ版(127×178mm)またはパノラマ写真(つなぎ写真可)とし、それぞれ対比して撮影すること。
3. 完成写真には測点及び起終点方向を明示すること。

第15条 品質規格

1. 本工事に使用する材料の品質規格は、共通仕様書及び「小型構造物標準図集」によるものとする。

第16条 一般施工

1. (準備工)
伐開、除根及び段切工等の準備工については、共通仮設費の中に含まれるので、土木工事共通仕様書に則って実施すること。また、除根材については建設廃棄物の対象となるため、監督員と協議の上、適正に処分するものとする。
2. (管路掘削工)
掘削底面に岩石、C o塊等がでてきたときは、管下端より10cm以上取り除いて仕上げなければならない。
3. (管路埋戻工)
 - ① 床砂(10cm)は、管の布設までに敷きならすこと。
 - ② 埋戻しは、指定する材料を使用し、ごみなど異物のほか、機械燃料や油脂類等の有害物を含んではならない。
 - ③ 埋戻しは、管その他の構造物に損傷を与えたり、管の移動を生じたりしないように注意して行うこと。
特に給水分岐部のろくろ継手等が可とうした状態にならないように埋め戻すこと。
4. (継手工)
耐震継手(EF・K型)及びフランジ継手のほか、監督員が指示する形式の継手の施工にあたっては、全箇所を継手チェックシートにより管理すること。
5. (給水工)
 - ① 給水管を布設替え・移設する場合は、宍粟市給水装置工事施工指針に基づき行い、その施工は市内指定給水装置工事業者によること。
 - ② 給水管を布設替え・移設する場合は、戸別に給水台帳附図を作成し、材料及び配管状況等を記載すること。
 - ③ 止水栓室を設置する場合は、蓋の蝶番を管路方向に据付け、その設置状況から管路の方向が分かるように施工すること。
6. (弁栓類)
 - ① 弁栓類を設置する場合は、事前に材料等の寸法を確認し、弁室鉄蓋との離隔が10cm以上確保できるよう調整すること。上記離隔を確保できないときは、監督員に報告し協議すること。
 - ② 弁栓類及びその弁室を設置したときは、弁栓台帳に積高・離隔等を記載し、出来高書類として整理すること。

第17条 詳細図等の作成

取り合い、現地再測量による数量等の変更、構造物の変更および追加による図面は、監督員と協議の上、受注者が全て作成すること。(設計変更には使用できる図面と数量を提出すること。)

第18条 工事標示板等

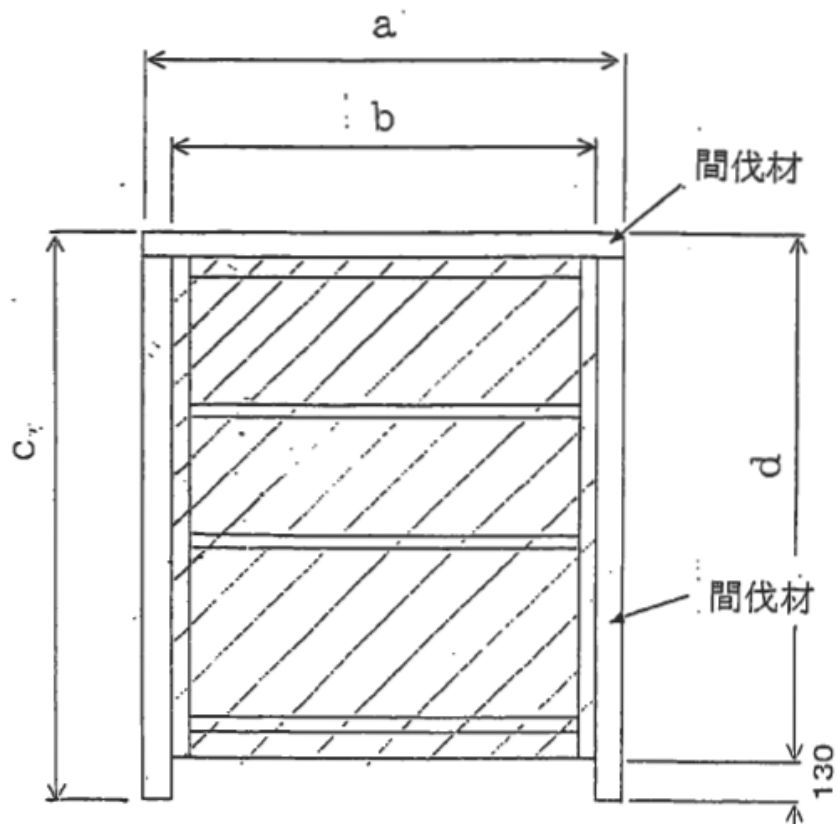
1. 受注者は、工事看板に宍粟産間伐材を使用すること。また、宍粟市のマスコットキャラクター「しーたん」を工事看板に表示し、工事現場に設置すること。(看板①)
2. その他の標示板〔お願い看板、まわり道、誘導標示板等〕にあっても積極的に宍粟産間伐材を使用すること。

第19条 その他施工関係

1. 土質の状態により、工法の変更もあり得るので、掘削時に監督員と現地確認を行い協議すること。
2. 本工事設計書の種別欄の記号は、別冊小型構造物図集に掲載の形式を表示している。
名称、単位、数量、構造物を省略かつ代表断面により発注しているので、受注者は施工にあたり位置・形状・寸法等に誤りの無いようにしなければならない。
3. 受注者は、縦断面図等のない場合でも、縦断勾配の配慮を要する構造物については、特にその目的及び機能を果たす施工をしなければならない。
4. 受注者は、軽微な取り合わせ等、現場の納めについては、図示されていないものであっても施工するものとする。
5. 監督員と協議・打合せした内容については、書類にて監督員に提出するものとする。
6. 本工事の施工にあたり河川への影響がある場合は、事前に関係者と調整を図ること。
7. 広範囲に住民等に周知する工事及び交通量が多い工事においては、看板②を見やすい場所に設置するとともに看板③を起終点に設置を行うこと。
8. 本特記仕様書に疑義が生じた場合は、速やかに監督員と協議すること。

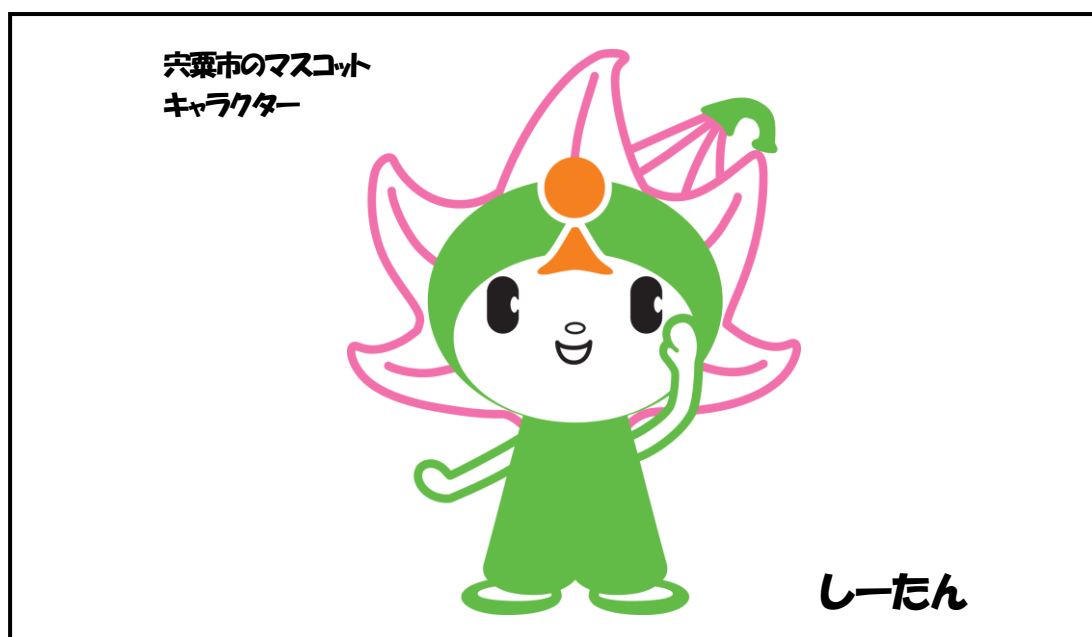
工事看板 参考図

【看板①】



※間伐材（杉・檜・松）

（例）

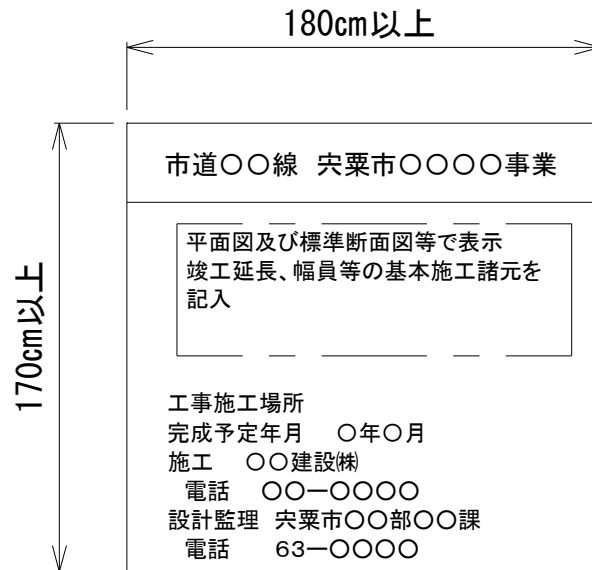


※図柄と文字のバランスは、上図を参考とする。

※下地は、白色とする。

【看板②】

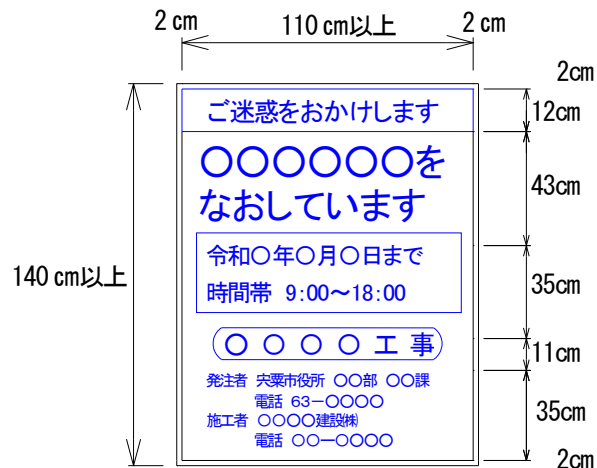
＜工事標示板を明記する工事看板例＞



(注)(1) 看板設置箇所を決定し、平面図の方向が現場の方向と合うよう調整する。

【看板③】

＜工事標示板を明記する工事看板例＞

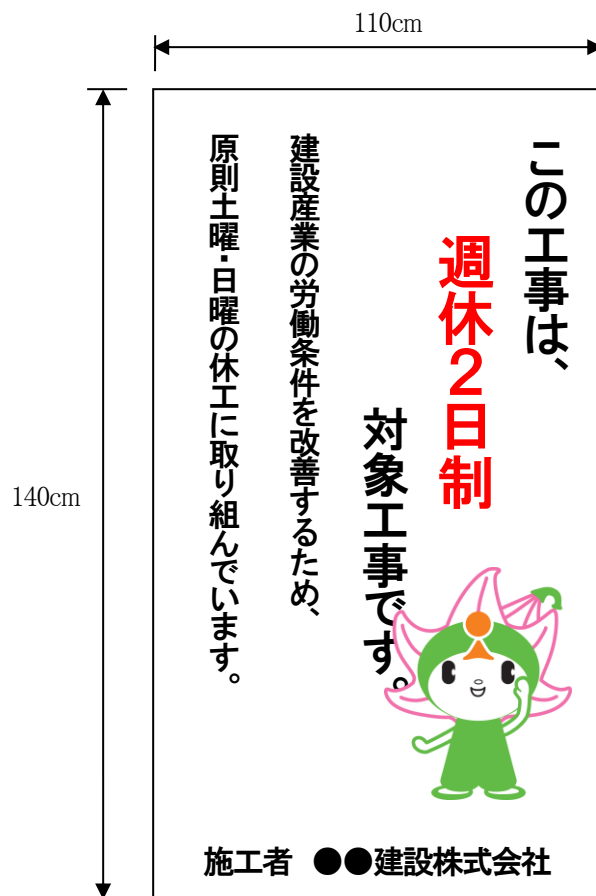


(注)(1) 色彩は、「ご迷惑をおかけします」等の挨拶文、「舗装修繕工事」等の工事種別については青地に白抜き文字とし、「〇〇〇〇をなおしています」等の工事内容、工事期間については青色文字、その他の文字及び線は黒色、下地を白色とする。

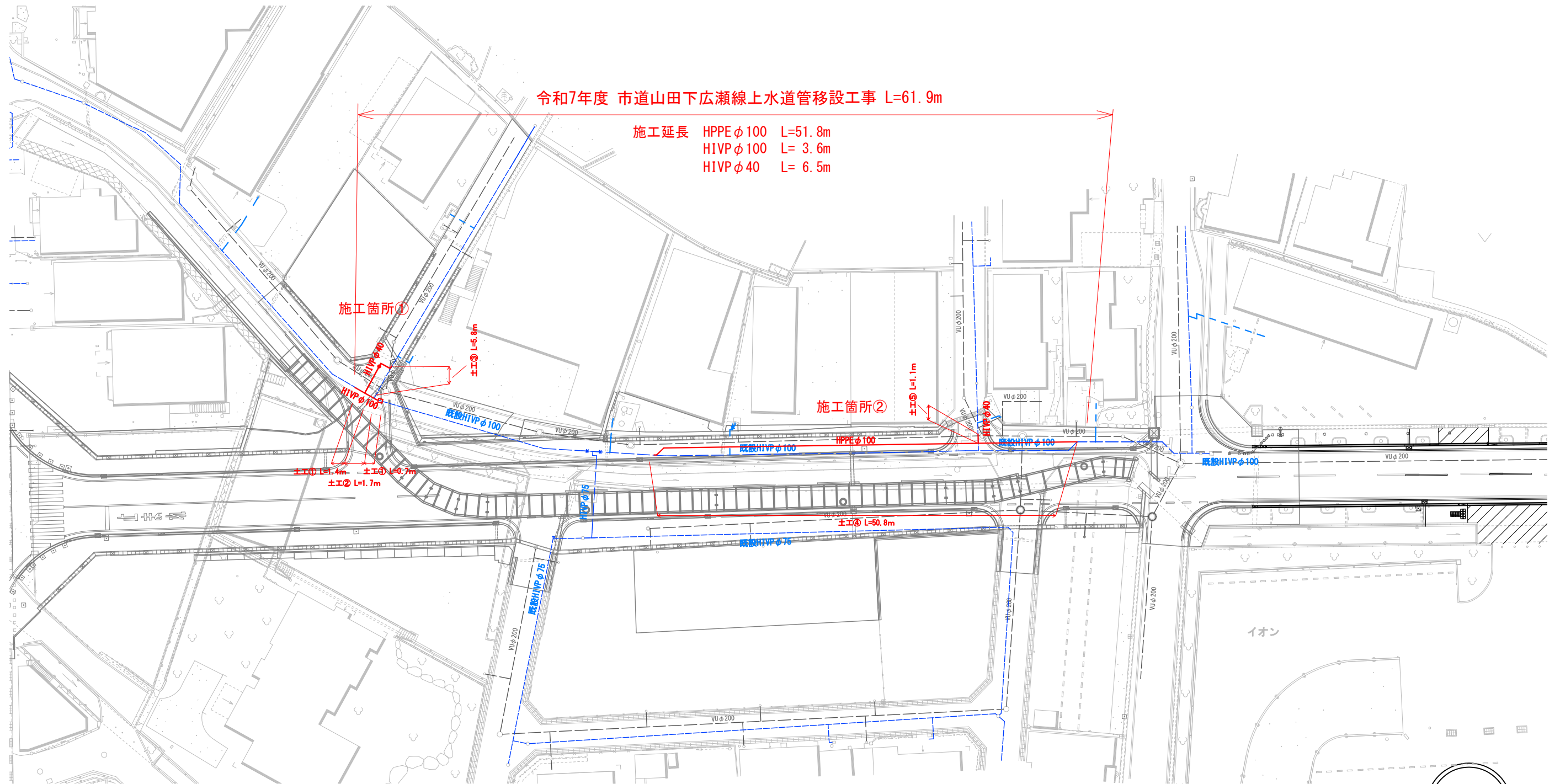
(2) 縁の余白は 2cm、縁線の太さは 1cm、区画線の太さは 0.5cm とする。

【看板④】

＜週休２日制度対象工事であることを明記する工事看板例＞



平面図 S=1 : 500



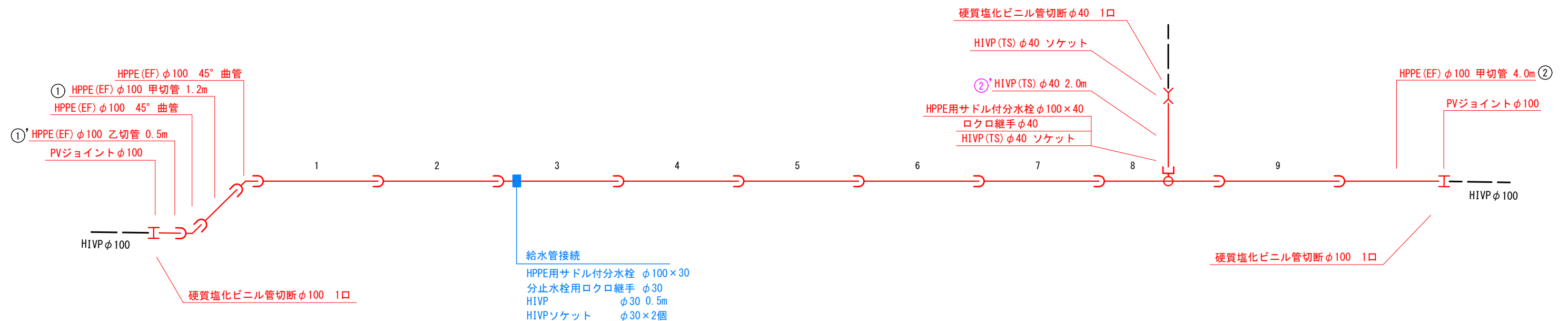
実施

【水道工事】

令和7年度 市道山田下広瀬線上水道管移設工事	
山 田 下 広 瀬 線	
矢栗市山崎町山田地内	
平面図	1 葉 全
縮尺 S = 図 示	3
矢 栗 市	

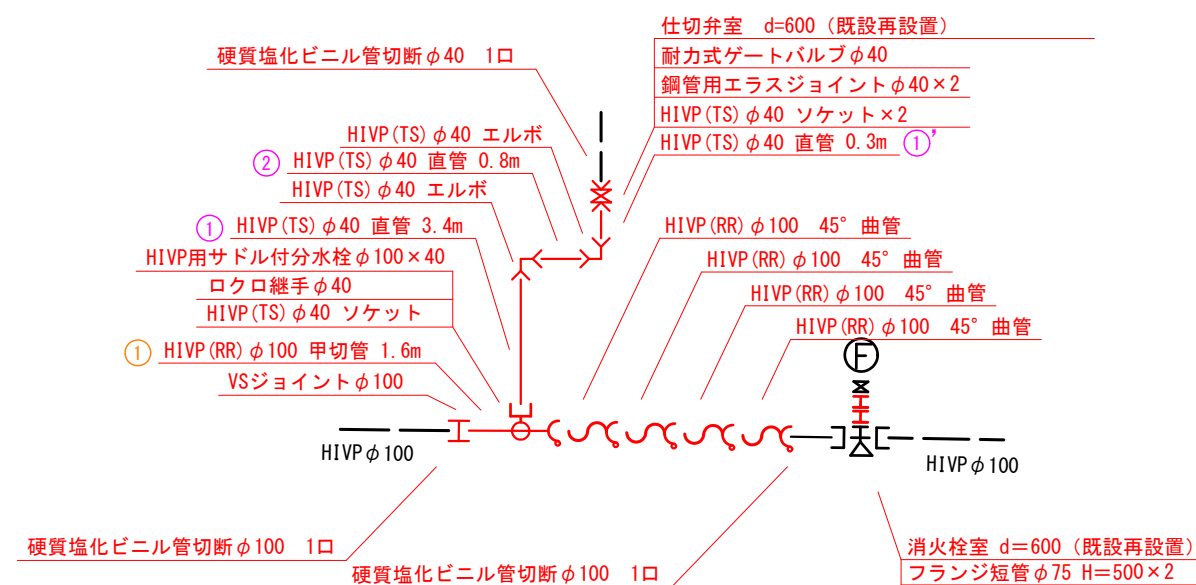
配管図 S=free

施工箇所②



施工箇所①

※既設管接続部については、新設管切断とする



实施

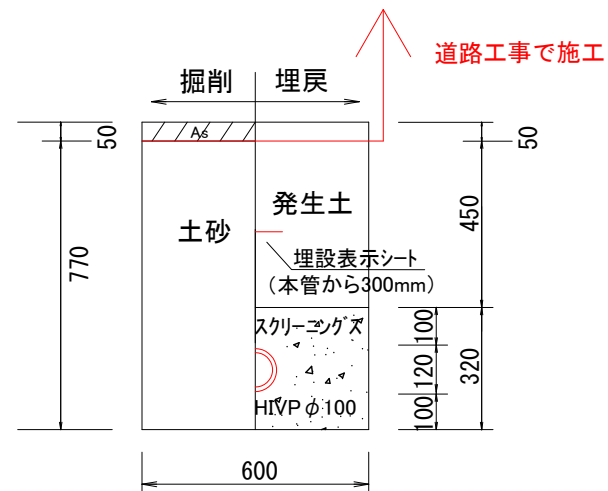
【水道工事】

令和7年度 市道山田下広瀬線上水道管移設工事	
山 田 下 広 瀬 線	
央栗市山崎町山田地内	
配管図	葉 全 2 3
縮尺 S = 図 示	
央 栗 市	

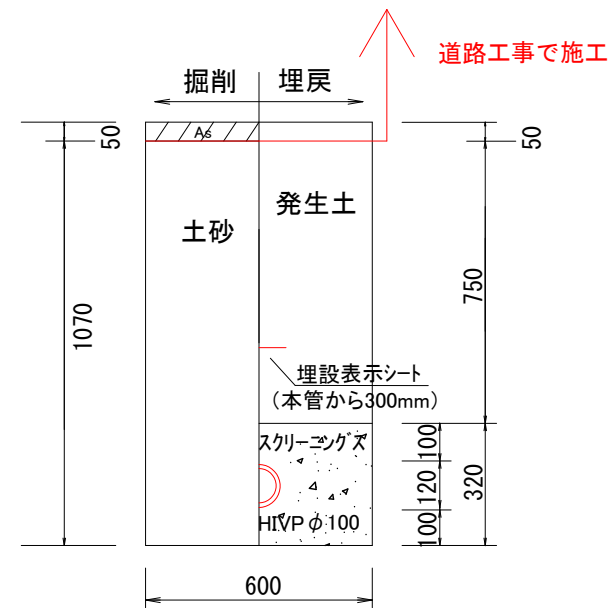
※フランジ規格については、RF7.5kとする

土工断面図 S= 1 : 20

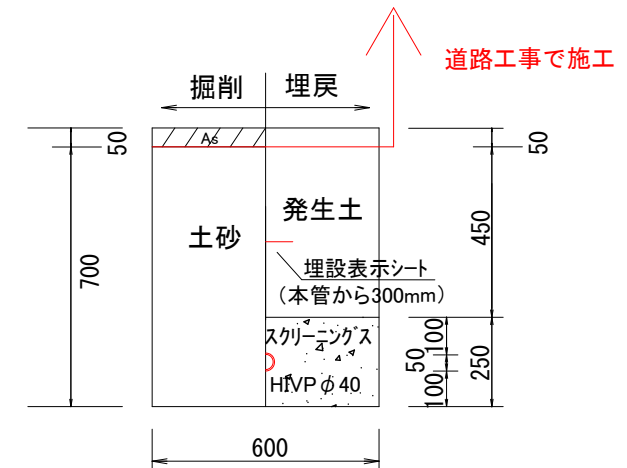
土工①



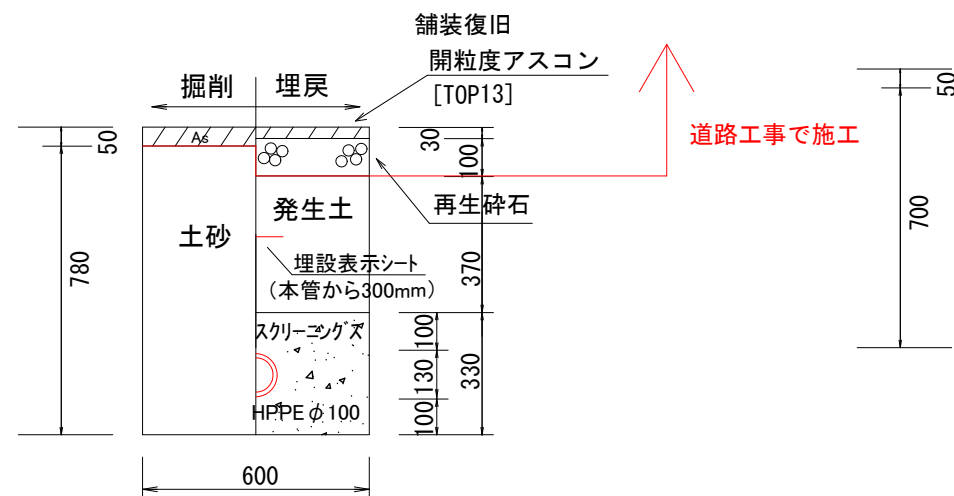
土工②



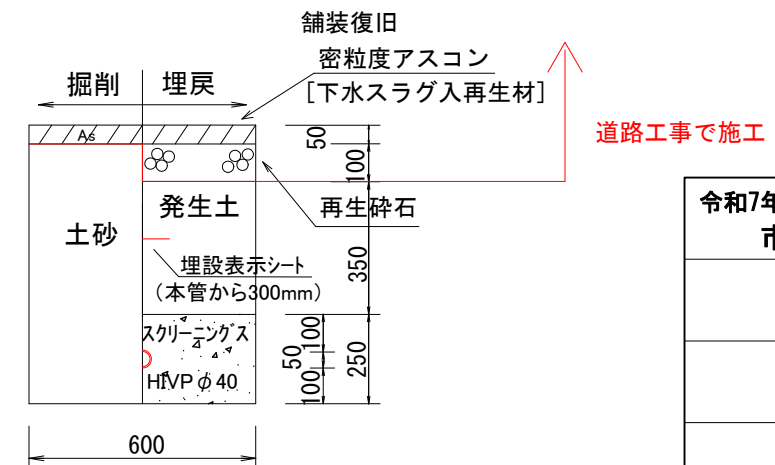
土工③



土工④



土工⑤



実施

【水道工事】

令和7年度 市道山田下広瀬線上水道管移設工事	
山 田 下 広 瀬 線	
中央市山崎町山田地内	
土工断面図	3 葉 全
縮尺 S = 図 示	3
中央市	